

JANPORA ウェビナーシリーズの開催

【ねらい】

- ・対面イベント開催が難しい環境下で、会員同士のつながりを強化する機会とする。
- ・年次大会以外の期間に、会員が学会所属のメリットを感じられる機会とする。

【時期】

2020 年 11 月（年次大会・駒澤大学）終了後～2021 年 3 月末までに 2 回

【テーマ】

・これまで学会として取り上げてこなかった「コロナ禍」を主なテーマとして検討する。11 月の年次大会（駒澤大学）で予定されている COVID-19 関連パネルにて残された議論や新たに生まれた論点を引き継ぐことで、議論を深め、単発企画で起こりがちな消化不良感の解消を目指す。

（参考）企画されているパネル例

- ①日韓の社会的経済ネットワークと COVID-19 への対応～政府への関係性～
- ②コロナ禍×アジア

【運営体制】

別途運営チームを作る（学術研究委員会委員＋テーマに適する理事・会員）

* 理事の皆さまにご協力をお願いすることもあるかと思います。どうぞよろしくお願い致します。

【内容】

運営チームにて検討する。学術研究委員会での議論では、以下の観点が例として挙げられている。
（例）コロナ禍における現状認識・実務家の課題認識／どのような研究が求められるか・できるか
／コロナ禍が日本の NPO に意味するもの／海外での研究動向／市民セクターにどのようなネガティブな変化が起こっているか、逆にどういう点で存在感を発揮しているかなどの現状認識共有／
既存調査の分析から見えること・見落とされていること／この事態を「あの」研究者はどう捉え、今後の NPO セクターの課題や方向性をどう見出したか

【財源】

「セミナー・研究会開催」として計上されている学会予算

（オンライン開催により、対面を想定して計上していた予算内にて、費用を収められる見込み）